

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 三重県鈴鹿市立牧田小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒513-0027
三重県鈴鹿市岡田1二丁目29番1号

E-mail : makita-e@city.suzuka.lg.jp

Website : _____

児童生徒数：男子 232 名 女子 213 名 合計 445 名
 児童・生徒の年齢 6 歳～ 12 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

○多文化共生（異文化理解）

牧田小学校では、外国籍児童が全校児童の17パーセントを占める学校の現状から、総合的な学習の時間や生活、特別活動の時間において、多文化共生にかかる学習に取り組んでいます。

その中でも、学習の締めくくりとして各学年が地域や保護者の方々を招いて、学習の発表の場「牧田万博」を開催しています。互いの文化の違いを知り、より仲良く暮らしていくためには何が必要か、自分たちに何ができるかをテーマに学習を進めています。

「牧田万博」の目的

- ①本校が推進している国際理解教育・多文化共生教育（保護者や地域の方をゲストティーチャーとして招き、「体験や活動を通して、人と出会い、様々な国の文化にふれる」学習活動）の一環として行う。
- ②生活科や総合的な学習の中で多文化共生について学習したことの仕上げとして、学習の成果を発表・発信する機会とする。
- ③学校と保護者・地域が多文化共生を通してつながる機会とする。
- ④外国の文化や習慣に関心をもち、互いの文化の理解を深める。

学年	テーマ・内容
1年	「ちがいを しると たのしいな！」 ・友だちの国の挨拶・数の数え方・歌などを紹介します。
2年	「おもちゃや がっきで あそぼう！」 ・楽器やおもちゃの作り方、遊び方を教えます。
3年	「きせつの 楽しみ」 ・日本の季節の行事と食について発表します。
4年	「弁天山祭りって どんな祭り？」 ・弁天山祭りってどんな祭りか、ポスターやビデオで紹介します。
5年	「世界でおこっている問題について」 ・JICAに行って、世界の問題について勉強し、調べたことを発表します。
6年	「牧田地区に住む一員として自分ができること」 ～多文化共生の視点で考える～ ・多文化共生の視点から、牧田地区に住む一員として、自分ができること考えました。

これらの学年発表のほかにも、茶道のブースや、日本の遊び紹介コーナーなど、地域の皆さんの協力で日本文化の紹介もしています。

